

大規模・突発地震発生による学校・家庭の対応（令和7年度）

○→「南海トラフ地震臨時情報」または「伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報」が発表されたとき

東部特別支援学校伊東分校

●→突発性地震が起きたとき

0557－32－3150

場所		登 校 中	学 校 に い る と き			下 校 中	家にいるとき
			授 業 中	休 み 時 間	放 課 後		
学 校 の 対 応	児 童 ・ 生 徒	○家に帰った方が近い人は、そのまま家に帰る ○学校に近い人、すでに登校している人は教室に入る。 ●大きな塀や屋根の下から離れる。 ●海や川から遠ざかり、土地の高い方へ逃げる ●揺れがおさまったら、学校か家の近い方へ行く ●交通機関利用者は、駅員などの指示に従う。	○直ちに授業を中止して、教師の指示に従い、家に帰る支度をする。 ○防災頭巾・ヘルメットをかぶりプレイルームに集まる。 ○教師の指示に従って、引き取りにきた保護者と一緒に家に帰る。 ●机の下に身をかがめる。 ●揺れがおさまったら、教師の指示に従う。	○すぐに自分の教室に入る。 ●校舎からできるだけ離れ中庭の真ん中に逃げる。 ●教室にいた人は机の下に身をかがめ、机の脚を持つ。 ●教室以外の場所にいた人は落下しそうな物から離れ、身をかがめる。 ●揺れがおさまったら、教師の指示に従う。	○放送の指示に従い、帰りの支度をしてプレイルームに集まる。 ●教室にいた人は机の下に身をかがめ、机の脚を持つ。 ●教室以外の場所にいた人は落下しそうな物から離れ、身をかがめる。 ●揺れがおさまったら、教師の指示に従う。	○そのまますみやかに下校する。 ●大きな塀や屋根の下から離れる。 ●揺れがおさまったら、学校か家の近い方へ行く。 ●交通機関利用者は、駅員などの指示に従う。 ●交通機関利用者で、バス・電車が出ないときは、学校へ戻る。	○学校から連絡があるまで自宅で待機する。 ○家の人との約束に従って行動する。 ○「南海トラフ地震臨時情報」又は「伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報」が解除されるまで臨時休校」となる。 ●丈夫なもののかげに身をかがめる。 ●家の人の指示に従う。
	職 員	○そのまま出勤し、すでに登校している児童・生徒を掌握する。その後、下校準備・保護者への引き渡しの準備をする。	○児童・生徒の動揺をしずめ、非常時の行動を確認する。 ○直ちに授業を中止して、下校の支度をさせ、プレイルームまで引率する。 ○引き渡しカードに基づいて、保護者に確実に引き渡す。 ●その場で児童・生徒の安全を確保する。	○教室に戻って人員を確かめる。 ○運動場にいた場合は、近くの児童・生徒を集め、教室まで引率する。 ●近くの児童・生徒を集め、安全を確認する。 ●その場で児童・生徒の安全を確保する。 ●被害状況の確認をする。	○教室に行き、残留者の有無を確かめる。	○下校できない児童・生徒の把握・指導にあたる。	○●定められた職員(応急対策要員)は、直ちに出勤し配備につく。
		○●地震災害における教職員動員計画に従って行動する。					
確 認		＊「南海トラフ地震臨時情報」または「伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報」が発表された場合 ・学校から連絡があるまで自宅で待機してください。 ・解除になるまで学校は《臨時休校》となります。 ・登校している場合は、学校へ児童・生徒を《引き取り》に来てください。					